

県連ニュース

2019年 10月号 NO-507



『恵那山黄葉』

滋賀県勤労者山岳連盟

2019年 10月号 目次

寄稿	エッセイ	2
案内	2019年第2期地図読み教室	3
	2019第4期初心者岩登り教室	4
	2020 労山カレンダーの斡旋案内	5
報告	2019 ステップアップ講座 No1 受講報告	6
投稿	キリマンジェロ山行報告	8
	ぐうたら会長のつぶやき	13
予定表		14

表紙の写真：『恵那山黄葉』
湖南岳友会 山中義文氏撮影

<エッセイ>

12日間の南アルプス大縦走

比良雪稜会 今村健治

比良雪稜会は今年創立40周年を迎えました。その記念行事の一つとして南アルプスの主稜線、光岳～聖岳～赤石岳～荒川岳～塩見岳～仙丈ヶ岳～甲斐駒ヶ岳を12日間かけて踏破しました。そこには様々な苦労や楽しいことがありました。

会員4名でテントと食料をもって台風6号の進路を気にしながら7月26日朝京都駅を出発。その日は我々だけの易老渡駐車場でテント泊。翌27日台風の影響もあって夜半から降る雨の中テントを撤収して、強い雨の中を標高差約1500mの易老岳を重いザック(20数キロ)を背負って急登。結局光岳小屋まで11時間かかり疲労と時間オーバーで計画変更を余儀なくされ、翌日に光岳に登頂。光岳から1日で聖平小屋まで行くところを2日かけていくことにした。3日目から天気も良くなり茶臼小屋で泊る。4日目はゆっくり5時間半かけて聖平小屋まで。予備日とゆっくりペースで疲労を回復する(教訓)。5日目からはいよいよ3000m級の聖岳。それを超えても2800m級の兎岳、小兎岳、中盛丸山岳のアップダウンが大変辛かった(一度体験する価値あり)。6日目360度展望の良いどっしりした赤石岳。7日目荒川中岳登攀中、花の種類之多さと満開で綺麗で規模の大きなお花畑が素晴らしかった(一度は観て欲しい)。夕方小河内岳山頂手前で雷雨に遭遇(怖かった)。ずぶぬれで避難小屋に駆け込む。管理人の親父さんが温かく迎えてくれる(感謝)。8日目三伏峠を越えて塩見小屋に向う途中で別動隊と出会う(大変な感激)。9日目鉄兜の塩見岳からは南アルプスの北部と南部が眺望でき、これから行く遙か仙塩尾根が一望できた。10日目2999mの剣岳と同じ高さの三峰岳を(右に行けば間ノ岳、)左の樹林帯を進み仙丈小屋を目出すが途中高望池(水は枯れていなかった)で野営する。11日目南アルプスの女王と呼ばれる仙丈ヶ岳は三つのカールを持つ美しい山容である。長衛小屋テ場で別動隊と出会い冷えた果物をいただく(感謝感激)。12日目(8月6日)いよいよ最終日、真白な花崗岩の三角錐の甲斐駒ヶ岳に登頂(全員で万歳・感無量)。快晴で360度の素晴らしい眺望である。八ヶ岳、鳳凰三山とその上に富士山、北岳、間ノ岳、仙丈ヶ岳、中央アルプス、遠く槍・穂高の北アルプスの名峰、高峰が望めた。達成感と絶景に癒され、今までの苦労は飛んでしまう。

永い歴史の中で諸先輩たちが築いてくれた伝統を一つ積み上げることができたことを誇りに思うと共に、一緒に歩いたメンバーと信頼と絆で結ばれた山の仲間のサポートに感謝。山と仲間は最高です。

<案内再掲載> 教育部・遭対部共催

2019 年度第2期 地図読み教室

道迷いが遭難の原因の一つになっています。地図を読めるようになりましょう。合せて磁石も使えるようになってください。初心者が対象です。

場所 音羽山とその周辺

募集人員 10名(再受講も可)(定員になり次第打ち切り)

締切り 10月2日(水)

テーマ 「地図に親しもう」

参加費 4回分 2000円(ハイキングABCをお持ちなら 1700円)

再受講の方は 1000円

再受講の方は初めて参加される方にアドバイスをお願いします。

座学 10月5日(土) 13時から県連事務所

ハイキングABCを使って主に地図の見方と磁石の使い方について行ないます。

用意する物

筆記具(赤のボールペンは必ず)、30cmくらいの線引き(定規)、磁石

お持ちならハイキングABC

※地図はこちらで準備します。

内容

尾根と谷の見分け方、等高線について、磁北線の引き方、磁石の使い方、現在地の確認など1回目の実技のコースを参考に実施します。

実技日

第1回実技 10月19日(土) びわ湖放送横～音羽山～平尾

現在地の確認の方法と磁石の基本的な使い方ほか

第2回実技 11月9日(土) 京阪大谷～音羽山～若葉台

参加者で現在地を確認する。磁石を使いながら進む。遠くの山の確認ほか

第3回実技 11月16日(土) 国分団地～国分山～若葉台分岐～瓦ヶ浜

前2回の復習と応用ほか

※実技の計画書は山行実施の3日前くらいに送ります。

申込・問合せ先 友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

<講習会案内> 教育部・遭対部共催

2019 年度第 4 回初心岩登り教室

剣や槍に登りたいけど少し自信がない人のための岩登り「初めの一步」です。
縦走などで出てくる岩場を自信を持って登れるようになりましょう。

実施日 11 月 30 日(土)

場所 三上山・二越の岩場

募集人員 5名(場所が狭いので定員になり次第打ち切り)

再受講してもOKです

締切り 11 月 26 日(火)

参加費 500 円

用意する物

ヘルメット、通常の山行に持って行く装備、持っておられればカラビナとシュリンゲ

内容

基本的なロープワーク(8の字結び・クローブヒッチ・フィッシャーマン結びなど)

三点支持での登下降&トラバース

申込・問合せ先 友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618

メール yt19481013@yahoo.co.jp です。



2020年度版 労山カレンダー 斡旋案内

先般、労山事務所において小松由佳氏（フォトグラファー）による2020年度版・労山カレンダーの写真選考会が行われ、採用作品が決まりましたのでご案内いたします。

応募は22名の会員から130点の作品が寄せられました。

来年は労山創立60周年になります。

この機会にカレンダーの体裁を一新。

A4中綴じ28頁になります。写真のサイズは小さくなりますが、表紙を入れて13点に増えます。名入れができなくなりますが、地方連盟の連絡先をすべて掲載します。全体のサイズが小さくなりますので、掛ける場所が多くなる、送料が節約できるなど、会員から希望の多かった要望を取り入れました。

会員価格1部700円（税込み）です。ぜひ、多くの方にお勧めください。

各会まとめて 窓口（宮内）までお願いします。 締め切り10/10

一部写真紹介

作品紹介



1月「厳冬の尾鷲」
根岸 健一

この年、何時にもなく大雪に見回り、山スキーを付け、夕刻尾鷲沼着。別起きると快晴、急いで撮影した。



2月「田代池静寂」
橋本 紀美子

氷点下-20℃、快晴！今までになく神様が降り立ったような神々しい田代池。六百山から昇る太陽を待つこと1時間、田代池周辺が輝いた。



3月「八幡平樹氷原から望む岩手山」
菊地 伸夫

天候と樹氷の両方いい状態には、なかなか巡り合えませんでした。この日はどちらも最高の状態で迎えてくれました。



4月「マナスル山群と石楠花の花」
富澤 士郎

マナスル一周トレッキングで歩き始めて16日目、ビムタンからゴへの道中、樹林帯の中に咲く石楠花に出会いラッキーでした。



5月「ブナ萌える奥只見」
宮澤 健二

鹿沢岳・末丈ヶ岳そして、溪流釣り等で知られる奥只見の春は、5月下旬より新緑の季節を迎える。



6月「ミヤマキリシマ咲く由布岳西峰」
奥田 米男

由布岳西峰へは陣子戸と呼ばれる絶壁を登らなければならない。かなり渋滞しているので東峰に登頂する。かえってここから見る険しい西峰が美しい。



7月「宝剣岳稜線」
大向 清司

碧空と堂々しい岩壁と優しいお花畑が三位一体となり、後方の若人の喧騒を感じさせないほど威風堂々とした風景に出会った。



8月「池ノ沢の池」
漆崎 隆之

広河内岳より池ノ沢を下降、大井川東側を通行し間ノ岳、北岳へ繋ぐ単独行。深い谷間の森の奥、静寂を映す鏡のほとりを宿とする。

<報告>

日向八丁尾根～甲斐駒ヶ岳

(ステップアップ登山講座 2019 第 1 回山行報告)

玉田美帆／比良雪稜会

日 程 2019 年 8 月 16 日 (金) ～ 18 日 (日)

講 師 秋田 (彷徨倶楽部)

受講生 其阿弥、濱野、玉田 (以上、比良雪稜会)

行 程 8/16 小野駅 16:30 — (名神高速、中央道) ～道の駅「白州」 21:30

8/17 曇り 矢立石登山口 6:55 — 日向山 8:45～8:55 — 鞍掛山分岐 11:15

— 大岩山 12:50～13:00 — 大下り 13:25～13:50 — 烏帽子岳 17:10～17:20 — 鋸岳分岐 17:45～17:50 — 六合避難小屋 18:35 (泊)

8/18 曇り 15 時より夕立 六合避難小屋 5:50 — 七合目の岩場 6:35～6:40 — 甲斐駒ヶ岳 8:20～8:40 — 七丈小屋 10:20～10:30 — 五合目 11:50～12:00 — 竹宇駒ヶ岳神社駐車場 15:30

数日前から台風の通過があり、当初予定されていた劔岳北方稜線から、日向八丁尾根・甲斐駒ヶ岳への変更となる。台風一過の猛暑のなか滋賀を出発し、大きな渋滞もなく、ほぼ予定通りに道の駅「白州」に到着。秋田講師から、明日からの行程についての説明をうけ、仮眠。

17 日、朝食を済ませ道の駅を出発。竹宇駒ヶ岳神社に、車 1 台をデポ、矢立石登山口へ。調理も含め各自 3.5L の水が入ったザックを背負い出発。日向山までは、きれいに整備されたハイキングコースを順調に登っていく。日向山山頂は白い砂地が広がり海辺の砂浜のよう。谷に落ち込む斜面には大きな岩がそびえ、独特の景観が広がる。鞍掛山に向けて樹林帯に入り、踏み跡を辿っていく。所々にテープはあるが、ルートがはっきりしない箇所もある。笹原が広がる鞍掛山を抜け、大岩山へ。急登が続き息が上がる。大岩山山頂からは、ハシゴや鎖、ロープばかりが続く約 150m の大下り。おもしろいように高度が下がっていく。そして烏帽子岳山頂へ、再び急登となる。大きな岩をいくつも回り込むように進む。岩また岩を登り越え、ピークのようにみえるところに登りつめても、また次がみえる。ようやく烏帽子岳到着。鋸岳分岐まで、夕焼けに染まる山肌を眺め、樹林を横切る陽射しのなか進む。谷に落ちこむ岩斜面には、ミヤマアキノキリンソウ、リンドウ、白いキツネノカミソリ、など可憐な花たちが咲いている。日没前、六合避難小屋に到着。すでに 6 名の先行パーティ他の方々荷物を広げているところ、秋田講師がかけあい、女性 2 名分のスペースを空けてもらうが、男性 2 名は土間にツェルトを敷いて寝ることに。夕食はナスの味噌炒め、高野豆腐煮、ズッキーニ&万願寺のローストと充実のメニュー。ウイスキーのお湯割りとともに、大変美味しくいただく。

18 日、ショートパスタで朝食を済ませ避難小屋を出発。体を慣らすように岩に登っていく。ひとつピークを超えると、甲斐駒ヶ岳の姿がようやく目の前に現れる。山頂に立つ人々の姿に励まされながら、岩を登りつめ、登頂！山頂には、トレランらしき軽装の人々も多く、山岳会の医療チームがおり、アンケートに答えると、脈拍と酸素飽和度を計測してくれる。頭上には青空が広がり、仙丈ヶ岳はきれいにみえるが、その後方には雲があり、鳳凰三山や富士山までは望めない。黒戸尾根へ下山。岩続きの斜面を、鎖やハシゴも使いながら七丈小屋へ下る。小屋では飲用水の補給ができ (有料)、ソフトドリンクも販売している。黒戸山へのちょっとした登り、戸渡りを越えれば、ひたすら樹林帯の登山道がジグザグと続く。午後 3 時頃、にわか雨に。汗で湿った体を雨にうたれつつひたすら下山し、思いのほか早く竹宇駒ヶ岳神社駐車場に

到着。デポしておいた車で矢立石登山口に残した車を取りに行く。神社駐車場にて解散し、帰路につく。

[一口感想]

- 白砂の浜辺かと疑う日向山、鞍掛山付近の美しい笹原、大岩山の垂直の大下り、岩稜の続く烏帽子岳。長大で変化に富む日向八丁尾根。登り甲斐があったと思います。甲斐駒の魅力を見出すユニークなルートです。主稜線に立つと、色とりどりの花々が心を和ませてくれました。講習生の皆さん、重荷に耐えよく頑張りました。(秋田)
- 樹林帯あり、岩稜帯あり、そして甲斐駒登頂、黒戸尾根下山と、盛りだくさんの山行でした。特に八丁尾根の大岩山からの下りはロープ！ロープ！で激下りを存分に楽しめました。烏帽子岳も面白い山でしたが体力不足で楽しめなかったのが悔やまれます。ドキドキしていた石作りの避難小屋もござっぱりとしていて素敵な小屋でした。(其阿弥)
- 樹林帯の蒸し暑さに負けてしまいましたが、変化に富んだコースで楽しかったです。大岩山からの鎖、梯子の連続した 150m 激下りは圧巻でした。大変よい経験をする事ができた山行でした。(濱野)
- 体力気力が鍛えられる山行でしたが、日向山の白砂と巨岩、岩の斜面に咲く可憐な花々、駒ヶ岳山頂の青空など、心に残る景色がたくさんあり、充実した時間でした。(玉田)



上左: 白砂の日向山、上右: 大岩山の大下り、下左: 甲斐駒の登り、下右: 甲斐駒ヶ岳頂上

<寄稿>

アフリカ最高峰 キリマンジャロ 山行報告

山 域：タンザニア キリマンジャロ山 日 程：2019年8月10日（土）～22日（木）

参加者：谷内資康(彷徨CL 記録) 谷内里美(彷徨 会計) 村田啓二(岳友会) 村田恵美子(山友会)

【行 程】

- 10日 関西空港11時着（中国南方航空 広州 長沙経由）14:10 発
11日 ナイロビ ケニヤッタ空港7:30 到着＝専用車（タンザニアに入国）モシ ホテル（泊）
12日 ホテル9:30＝キリマンジャロ NP マチャメゲート 10:40～12:20…マチャメキャンプ地
17:30（泊）
13日 マチャメキャンプ地 8:20…シラキャンプ地 13:20（泊）
14日 シラキャンプ地 8:40…東峠…ラバタワー14時～14:10…アロー氷河…バランコキャンプ
地（泊）
15日 バランコキャンプ地 9:05…カランガ谷…バランコ壁…カランガキャンプ地 14時（泊）
16日 カランガキャンプ地 9:15…ムエカトレイル合流 12:15…バラフキャンプ地 12:30（泊）
17日 バラフキャンプ地 0:15…ステラポイント 6:40…ウフルピーク 7:15～7:45…ステラポ
イント 8時～8:10…バラフキャンプ地 10:45～13:05（昼食）・ムエカキャンプ地 17時（泊）
18日 ムエカ 7:50…ムエカ公園ゲート 10:30＝昼食（レストラン）11時～12時＝アリュウシャ
＝（タンザニアに入国）アンボセリ公園のホテル 21:30（泊）
19日 終日サファリ マサイ村訪問 アンボセリ（泊） 20日 早朝サファリ＝ナイロビ ホテル
（泊）
21日 ホテル9時＝ナイロビ ケニヤッタ空港 10時着（中国南方航空 長沙 広州経由）
13:20 発
22日 関西空港 21:15 到着＝（最終の特急はるかで帰滋）



マチャメゲートに

【概要】 ナイロビ空港到着後専用車で迎えがあり、キリマンジャロガイド料とサファリ代金を支払う。国境で出入国審査を受け、タンザニアへ。登山口のモシのホテルに夕方到着。キリマンジャロがきれい見えた。

12日 朝食後ホテルを出発、キリマンジャロ国立公園マチャメゲートでガイド・ポーターと顔合わせ。昼食後、熱帯雨林をマチャメ小屋キャンプ地まで歩く。各キャンプ地の小屋は通過時にサインする場所で泊りは全てキャンプ。サイトからは美しいコニーデのメル

一山（標高4562mアフリカ第4位）が見え、この山はその後も雲海の上に我々を見守ってくれた。標高3100メートルなので高山に来た感じはしないが、昼間太陽が差し込むと暑い位でも日が落ちると冷え込みが厳しく、胃腸が不調で高山病の兆しに悩まされる。（歩行時間5時間10分 標準タイム6時間）

13日 熱帯雨林を通過して峠に登り、急な岩稜を歩いてシラ小屋（標高3600m）に到着。（歩行



熱帯雨林を歩く



マチャメ小屋からメルー山を望む



ガイドのDavidとシラ小屋への



シラ小屋に到着



ラバタワーへの道 写真右



パランコ手前のジャイアントセレスオ

時間5時間
50分 標準
タイム4時
間)

14日 シ
ラから標高
4600mのラバ
タワーまで高
所順応。ラバ
タワーの別称

は「サメの
歯」で巨大
な溶岩柱で
キャンプ地
もある。こ
こから頂上
へのルート
もあるが落
石が多く危
険なルート

らしい。その
後、アロー河
を通過してバラ
ンコ小屋(標
高3800m)

まで下る。キ
ャンプ地手前
にはサボテン
のような植物
(ジャイアン

トセネシオなど)が多く自生していた。(歩行時間7
時間40分 標準タイム6時間)



カラंगाキャンプ地



アタックキャンプ地のバラフ小屋に

15日バ
ンコから急
な稜線を登
り、カラ
ンガ小屋（標
高4000m）
へ。カラ
ンガから先は
水場が無く
ポーターは

最後の水場のカラंगा谷まで下って水を汲む。（歩
行時間4時間55分 標準タイム4時間）

16日 急な下りと登りを経てバラフ小屋（標高
4600m）に着く。とても寒く、防寒着を全部着て就
寝。（歩行時間3時間15分 標準タイム4時間）

17日 ビスケットと紅茶の軽食後、0時15分に
頂上アタック開始。ガイド2名とサポーター2名が
付き添い、ザックは全て預けて登る。寒く苦しい登
りが続く。頂上稜線のステラポイントを過ぎると朝
日が昇り、最後は火口縁沿いにゆるやかに登る。ア
フリカ大陸最高峰のウフルピークについに登頂す
る。頂上から大きな噴火口や巨大な氷河が見え東
に標高5149mのマウンエンジ峰が美しい。帰路は
一気に砂走りのような砂利道をバラフ小屋まで戻
り、昼食後長い下山路を歩いてムエカ小屋（標高
3100m）に着く。（歩行時間14時間25分 標準タ
イム11~14時間）

18日 キリマンジャロ登頂をガイドとポーター
全員でキリマンジャロの歌で祝福される。歌って
踊った後、熱帯雨林を下ってムエカゲートに到
着。（歩行時間2時間40分 標準タイム3時間）ゲ
ートの事務所で登頂証明書のサインをもらい、レ
ストランで昼食おいしい料理とビールで乾杯。
登山基地のアリュエシャでガイド・ポーターにチ
ップを渡して別れ、再びケニアに入国後、サファ



ガイド・ポーターとついに登頂



ムエカゲートに無事下山



サファリに出発



アンボセリ国立公園 像の群

リドライバーの車でアンボセリのホテルに夜 21 時 30 分に着き遅い夕食を摂る。

19 日～20 日 アンボセリ国立公園でサファ

リツアー サファリは乾燥していて砂煙がすごいが野生動物の群れが間近で見られ、迫力満点。サファリのために毎年アフリカへ行く観光客多いのはうなずける。

【感想】

約半年間の準備で念願のキリマンジャロに参加者全員で登頂しました。2か国のビザ取得や富士山登山などの準備は大変でした。途中乗り換えた中国で入出国の手続きも時間と手間がかかファリツアー サファリは乾燥して砂煙がすごいが野生の動物のり、英語での会話もどうにかこなして貴重な体験ができました。(谷内資康)

キリマンジャロへ行くと聞き、私でも行くことができるのかと不安ばかりでした。でもガイドやポーターの方たちのやさしさや穏やかな人柄にふれ、毎日がとても楽しく、最終日、山頂に立った時は、「来ることができた」喜びで一緒に歩いて下さったガイド、ポーターの方たちに感謝の気持ちで一杯になりました。本当に良い山行となりました。(谷内里美)

過去経験した高度は5300 ㍎、キリマンジャロに立てるだろうか心配の中、富士山、北岳、低酸素室など、国内での準備を整え、本番に臨みテント泊5日目でやっと山頂に！快晴の空に朝日がまぶしく、夢に描いた以上の光景で大満足。4名の行動を支えてくれた15名のスタッフに感謝。(村田啓二)

キリマンジャロ5895 ㍎ついに頂上に。69才の私をはたして登頂できるかと心配でしたが、言葉が分からずとも明るく陽気で親切な、アフリカのスタッフと日本の仲間に支えられ登ることができました。天気も良く、満天の星空、頂上から見た朝日、氷河など々素晴らしかった。

(村田恵美子)

追記：要した費用 その他航空券167760円 保険6295円 キリマンガイド料6泊7日(食事付)1400ドル(約154000円) サファリ1.5日(食事付)510ドル(約56000円) ガイド・ポーターチップ998ドル/4 一人27500円) ホテル2泊朝食付(モシ・ナイロビ)27038円/4(一



作成：NCT自然と文化の旅

人6760円) ホテル夕食代(モシ ナイロビ2泊分)約3000円 運転手ほかチップ40ドル/41100円 マサイ入村料30ドル 3300円 ビザ(タンザニア・ケニア)代12000円 黄熱病注射3800円 好日山荘低酸素室3500円 はるか往復4800円 合計 約450000円(現地アルコール代、ビザ・黄熱・高所順応交通費、富士山登山経費は除く)

現地は冬で夏より5度ほど寒く頂上付近は-10°C~-15°Cまで気温が下がるので防寒対策が必要。アタック時は冬用手袋が役立った。乾燥と砂埃りのためマスクなど喉のケアが必要。また、強い日射に対してサングラスが有効。高山病予防のダイヤモンドックスや現地で頂いた整腸剤が役立った。彷徨倶楽部の須藤さんの紹介で現地ケニアナイロビの旅行社(Jocky Tours & Safari)と値段やツアー内容、送迎等についてネット(英語)でやり取りした。現地は基本的な英語でほとんど意思疎通は可能。安心感はともかく手間はかかるが安価で現地のガイドは登頂を最重点にしてケアしてくれた。日本のエージェンツは4泊5日のマラングルート(ココ・コーラルルートまたは日本人ルートと呼ばれる)と1日サファリが定番で最短ルートだが高度順応が難しくアタック時に体力や高山病など登山客の状態に応じて登頂の可否を選別するため登頂率は落ちる。費用はかかるが日数が比較的短く(10~11日位)日本語で説明や資料が得られるためどちらを選ぶかは参加者次第です。中間的な選択肢は現地の日本人スタッフのいる旅行社に依頼する方法で今回よりも一人当たり4~5万円高いがそれでも日本のツアーよりは安い。

ぐうたら会長のつぶやき

登山祭典が近づきました。多くの仲間を迎え入れるためにも大事な活動です。まだまだ案内ちらしが事務所に残っているようです。心当たりの所に置いてもらうなり、例会などで登山者に配布するなりして多くの方に周知してください。残しても仕方ないものです。大いに活用してください。

エミール・ジャヴェルさんの書いた「一登山家の思い出」の中にこんな文章がありました。

一部省略、意味の変わらない範囲で変えてあります。

「ダン・デュ・ミディ峠は「怠け者の峠」と言う名前と呼ばれています。峠からはダン・デュ・ミディの最後の斜面が未だ長々と、疲労に耐えている脚や、使い果たされた肺臓に対してひどく長々と、かつは急角度に峙っているのが見られるのである！ 怠け者は顔を上げ、元気がない一瞥で距離を測り、杖やザックを投げ出し、それから身を倒して、もう先には進まないと言断する。こんな事が何度もあったので、土地のガイドが怠け者峠と名付けたのです。

大多数の登山者はここで気持ちのよい休憩をする。その後でたまたま一人の怠け者がまた顔を上げて仔細に距離を測り、最後の努力を試みようとする勇敢な決心をし、途中で二十度も足を止め自分の決心を半分くらい後悔しながら、それでも誇らかな山頂へ達するのである。

しかし読者は、単にダン・デュ・ミディだけにこの峠があると信じるなら間違っている。モンブランにせよ、他の山にせよ、すべて苦しい登路を持つ山岳の大多数には、その山腹にこの峠があると思うべきだ。

また山だけではなく、あらゆるものの半途にこの峠が存在するのは事実ではなかろうか。勇氣ある者は追及して結局は到達する。臆病な者は斜面を測り、絶望し中止する。」

自分の人生を振り返った時、数限りない怠け者の峠に立つたびに、前途の困難さを測ってしり込みをするばかりだった気がします。ただ一つ「山」だけは峠に立っても前に進む事しか考えてなかった気がします。それも最近急な階段や急な登りを目の前にすると、最後の砦だった山もとうとう「怠け者の峠」が発生するようになってしまったようです。それでも何とか頑張りたいと思う毎日です。

10月12日(土) 福知山線の近くにある虚空蔵山に行きますので、それ以外の計画は立てません。

10月12日(土) 9時 藍本駅集合

コース 藍本駅～登山口～虚空蔵山～八王子山～草野駅

参加していただける方は10月8日(火)までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

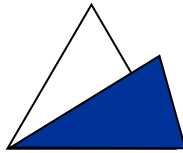
行事予定

日	県連・全国行事	日	各会の行事	会
5	金毘羅岩トレ(CSS)	6	比良全山縦走(栗原～高島)	岳友
		6	京都トレイル	ちご
5-6	頸城・荒菅沢～雨飾山 (ステップアップ登山講座2019/CSS)	6	鈴鹿/北岳	雪稜
		5-6	オールラウンド例会「酒沢カール」	山友
		12-13	両白山地(三ノ峰～別山周回)	岳友
		12-14	信越トレイル	彷徨
10		16	ミーティング	彷徨
		19	体験山行「赤坂山」	山友
		20	イブネ	雪稜
		26	ダイトレ(滝畑ダム～岩湧山)	彷徨
		26	ミーティング	岳友
		27	登山祭典「京都トレイル」	岳友
		27	登山祭典「大文字山」	彷徨
27	登山祭典 各会	27	登山祭典「七ヶ頭岳」	雪稜
		27	登山祭典「彦根・荒神山」	ちご
		27	登山祭典「比叡山」	山友
		1-13	ネパール エベレスト街道	彷徨
2-4	南ア・大無間山 (ステップアップ登山講座2019/CSS)	2-3	雨乞岳 イブネテント泊	岳友
		4	比良飲み水調査・放射線調査	雪稜
		10	武奈ヶ岳	ちご
		16	六甲縦走	彷徨
		17	湖国観音巡りと鷄足寺の紅葉	岳友
		17	青竜山・男鬼山	雪稜
11		23	体験山行 比良・武奈ヶ岳	山友
		23	地藏谷山	雪稜
		23-24	氷ノ山	岳友
		23-24	総会(山梨県)	彷徨
		24	私市ハイキング	ちご
		30	ミーティング	岳友
		30	土倉山	雪稜
		1	比叡山	岳友
		7-10	香港の山	彷徨
		8	竜王山(読図)	岳友
		14-15	忘年登山(十二坊)総会・忘年会	ちご
12		15	ダイトレ(榎尾山)	彷徨
		15	六甲山	岳友
		18	ミーティング	彷徨
		21	ミーティング	岳友
28-1/1	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)			

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2019年11月号の原稿は、10月15日〆切です。

原稿の投稿先は tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp まで、用紙サイズは **B5**、

フォントは本文 **10.5~11**、タイトル **12~14**、余白は**やや狭い**とし、

使用する写真は **200KB 以内**としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース10月号」 No.507

発行日:2019年9月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子